

ヤマザクラ

2021年(令和3年)10月25日(月)発行

本会創立 20 周年を迎えて

副理事長 松崎和敬

いわきの森に親しむ会の創立から今年 10 月 3 日で 20 年になりました。誕生時からのメンバーは現在 10 数名となったこともあり、この機会に 20 年間の歩みを 3 回位に分けてまとめてみることにしました。

〈2001 年度〉

- 4/25 いわき地域環境科学会より関係者に対して今年 7 月から 9 月までの間、福島県で「うつくしま未来博」が開催されることを契機に「市民の森を市民の手で作り・守り・育てるためのボランティア組織」の立上げについて検討依頼を行う。
- 5/23 ボランティア組織立ち上げのための有志による会合開催
- 6/22 市民の森の整備並びに組織の立上げについての打合せ
- 7/3 組織の名称を「いわきの森に親しむ会（仮称）」とすることを決定
- 7/30 いわきの森に親しむ会（仮称）の設立について関係者に連絡し参加を呼び掛ける。
- 8/24 今後の具体的な取り組み方について関係者内で打ち合わせ
- 9/24 21 世紀の森公園内自然冒険ゾーンの整備作業に着手
- 10/3 いわきの森に親しむ会の設立総会開催
- 3/24 第 1 回自然観察会を「早春の里山の自然に親しもう」をテーマに 21 世紀の森公園「自然冒険ゾーン」において開催。参加者：市民 95 名、スタッフ会員 35 名、支援者 12 名計 142 名
6 ヶ月かけて整備した冒険ゾーン内のコースの案内と観察会、ネイチャーゲーム、クラフト等を実施
- 3/31 平成 14 年度総会開催（会員数 52 名）
事業計画を次のとおりまとめる。
- 1 市民の森づくり
 - (1) 21 世紀の森の「自然冒険ゾーン」における「未来博森のネイチャーツアーコース」いわき版の整備
 - (2) 自然冒険ゾーンにおける里山整備
 - (3) 定例整備活動（月 3 回）
 - 2 ネイチャーツアーコースの設計（未来博のいわき版）
 - 3 自然体験プログラムの常設化（当面自然観察会中心）
 - 4 いわき自然案内人養成講座の開催（基礎講座、スキルアップ研修）
 - 5 調査活動
 - 6 森林に関する各種情報の受発信

〈2002 年度〉

- 5/8～6/30 いわき自然案内人養成基礎講座実施
宿泊研修 2 回 48 名

- 日帰り研修 野鳥・昆虫 38名、森林生態 39名
- 6/11 湯本3小総合学習支援スタート
観察コース整備を含めて年9回実施
- 6/14 「五安溜池」周辺の森整備事前調査
- 8/17 地元先生指導による樹木マップ作り
- 9/14・15 茨城大学名誉教授鈴木昌友先生による植物研修会
- 9/23・25 「戸渡」国有林の下見と地元打合せ
- 9/25 磐城森林管理署担当者と「戸渡」地区視察
- 10/6 横浜自然観察の森・舞岡公園視察（会員12名）
- 10/10 「自然冒険ゾーン」に解説板取り付け
- 11/3 「とわだ遊学の森」自然観察会（会員24名）
- 11/13 沢渡小総合学習支援
- 11/16 田人地区自然観察会支援
- 12/14 金成公園自然観察会支援
- 1/17～3/23 五安溜池周辺の調査と整備（17日間）

〈2003年度〉

- 4/4～6/11 「五安溜池」整備と観察コース作り
- 4/7～3/31 21世紀の森「自然冒険ゾーン」整備
- 4/19 21世紀の森植生調査
- 4/20 「戸渡」コース下見
- 5/10・11 いわき自然案内人養成基礎講座（23名）
- 5/18～25 「戸渡」コース整備
- 6/7・8 いわき自然案内人養成基礎講座（21名）
- 6/14 いわき自然案内人養成講座（野鳥・昆虫）（15名）
- 6/18～10/1 川部幼稚園遊び場整備（12日間）
- 6/22 いわき自然案内人養成講座（森林生態）（18名）
- 6/28 「暮らしの伝承郷」里山整備
- 7/6～7/12 「五安溜池」周辺観察（下見を含む） 3日間
- 7/24・25 チェーンソー取扱研修会
- 8/23・24 いわき自然案内人養成講座（シダ植物）（18名）
- 8/26～11/27 「戸渡」山小屋整備（23日間）
- 9/6・7 いわき自然案内人養成講座（植生・植物）（35名）
- 9/20 いわき自然案内人養成講座（キノコ）（12名）
- 9/28 岩出地区観察会支援（会員11名、参加者54名）
- 9/30～3/28 湯本3小総合学習支援（20日間）
- 10/4・5 いわき自然案内人養成講座（土壌）（59名）
講師：筑波大学 田村憲司先生
- 10/9 下船尾保育所観察会支援（会員6名、参加者70名）
- 10/19・2/8 「暮らしの伝承郷」秋・冬の観察会（会員14名、参加者49名）
- 11/15 金成公園観察会支援（12名、参加者37名）
- 11/30、12/4 いわき自然案内人養成講座（地質）（27名）
- 12/6～23 21世紀の森の「四季の森」植樹場所整備と植樹
ヤマザクラ200本（会員98名、参加者38名）
- 1/17～18 冬水田んぼ（冬季湛水不耕起栽培）勉強会（会員44名、会員外31名）
- 1/25～3/24 21世紀の森の「絆の森」整備
- 1/26 NPO法人いわきの森に親しむ会設立総会
- 2/7 21世紀の森観察会（24名）
- 2/19、21 湯ノ岳山荘周辺コース下見（10名）

- 2/28～3/30 湯ノ岳山荘下見、清掃、整備等（61名）
 3/7、31 金成公園整備（16名）
 3/28 ろうきん森の学校の件でホールアース自然学校担当者が来訪し、湯ノ岳フィールドを視察（5/27 福島、広島、富士山の3地区が労働金庫の支援対象地区に決定）

【森林整備班の活動報告】

森林整備班

1 定例活動

今期は、刈払い作業を中心に行った他
 解説看板の設置作業を行いました。
 また山荘広場にブランコを作りました。



(R3.7.1～9.30)

月 / 日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
7/3	土	曇	山荘北側刈払い	7
14	水	晴	〃	7
17	土	晴	〃・広場南側松除伐・ブランコ作り	6
21	水	晴	管理道路刈払い	4
28	水	晴	バンガロー、水車小屋周辺刈払い	6
8/4	水	晴	水車小屋周辺刈払い	4
7	土	曇	ハチ対策と周辺の除草	3
11	水	晴曇	山荘周辺の刈払い	4
18	水	曇晴	〃	4
21	土	曇	〃	5
25	水	曇	栗園跡地の刈払い	4
9/1	水	小雨	〃	4
4	土	曇	解説用看板設置	5
8	水	曇	栗園跡地の刈払い	7
15	水	曇晴	解説用看板設置	5
22	水	晴	栗園跡地の刈払い	6
29	水	晴	山荘北側刈払い	4
計				85

2 定例整備以外の活動

- (1) 8/8～8/21の間名古屋商科大メンバー13名、また8/24～9/2の間国際ワークキャンプ参加者7名に対して森林整備を中心とした指導を行いました。
- (2) 観察コース上に解説用看板の設置を行った他、植物観察のためのスポット4か所のコドラートに植物名の一覧表の掲示も行いました。

3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

月／日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
7/4	日	下刈り	7	0	7
30	金	〃	6	0	6
31	土	〃	2	14	16
8/17	火	〃	8	0	8
9/12	日	〃	7	0	7
		計	30	14	44

(松崎記)

【農業班の活動報告】

農作業班にとって7～9月は最も忙しい時期です。作業の内容は次のとおりです。

1 春巻き野菜の手入れ

4, 5月に種子まきをした作物が最も成長する時期になり、作物と同時に雑草もどんどん成長し、草刈り、土寄せ、追肥等を行いました。

晴天が続くと水やり作業も加わりもっとも忙しい時期になりました。

2 ブルーベリーの収穫

7/19～8/9の間、総計12kg収穫しました。

3 ワークキャンプメンバーへの対応

8/16には17名に対して草刈り、堆肥積み、
耕運機の操作などを行っていただきました。

8/30には7名に対してラッキョウの植え付け、
ノラボー菜の種子まき、耕運機の操作など
を行いました。

4 秋野菜の種子まき

9月は秋野菜の種子まきの時期になり白菜、
大根、大カブ、玉ネギ等の種子まきをしました。

5 サツマイモの収穫

9/27に第1回目のサツマイモ掘りを行いました。



【木工班の活動報告】



今期は男性班が木槌や測定器収納ケース、縁台、大工道具入れそれにイーゼル式フラワースタンドなどを作りました。





一方女性班はコースター、ティッシュボックス、椅子を作りました。



【プログラム班の活動報告】

1 学校・幼稚園等の支援活動

今期は7月に4回の支援を行いました。8、9月はコロナの流行の拡大により、学校から活動を当面自粛したいとの連絡があり、当初の計画が延期となりました。

その活動の実績は、別表のとおりです。

学校等における学習支援活動(7/1～9/30)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	7月1日(木)	江名小	3・4	総合学習	28	12
2	7月12日(月)	藤原小	3	総合学習	23	6
3	7月13日(火)	錦東小	3	総合学習	28	6
4	7月15日(木)	中央台北小	4	総合学習	37	12
	計				116	36

その活動のようすは、次の写真のとおりです。



2 班の自主活動

抜け殻によるセミの同定演習 8月5日(木)

参加者 11名

紙製円筒型風車の製作 9月2日(木)

参加者 12名

木の葉模様の葉製作 9月16日(木)

参加者 13名

紙漉き 9月30日(木)

参加者 5名

他に今期は日高敏隆の著作や翻訳もの10冊をメンバーで回し読みしました。

それらの本は次のとおり。

「人はどうして老いるのかー遺伝子のたくらみ」、
「世界をこんなふうに見てごらん」、「ネコはどうしてわがままか」、「チョウはなぜ飛ぶか」、
「春の数えかた」、「犬のことば」、「動物と人間の世界認識」、「ソロモンの指輪(コンラートローレンツ)」、「生物から見た世界(ユクスキュル、クリサート)」、「利己的な遺伝子(リチャードドーキンス)」



(佐藤 烈記)

【観察班報告】

4月から毎月第1日曜日に行ってきたスキルアップ研修会。遅くなりましたが報告いたします。

いわきの森に親しむ会が発足した当初は、よく専門の先生方に観察会をしていただきました。20年の年月を過ごし、先生方もお年を召され、未熟な生徒だった私たちがその年齢になってしまいました。

何人かで集まった時「今なら先生の教えて下さった事が理解できるかもしれないね。」という話しから、それなら自分達でも観察会をやってみようではないかという事になりました。

かと言って、専門の講師がいるわけではありません。

ならば、みんなの知恵を出し合おう。3人寄れば文殊の知恵と言うではありませんか。

会報には4月の回と四時川溪谷から載せていただきましたが、まずは試しにと、

3月7日(日) 勿来の関に作っているトレイル予定地を歩きました。

気温は4℃・晴・参加者9名。

なかなか陰しい細い尾根道を歩きましたが、さすが、いわきの南の地、生えている植物にも特徴がありました。

今は旧国民宿舎(ナックル)に寄ると案内図が出来ているそうです。美味しい食事もできますよ。

4月からは会報に載せていただき皆さんにも参加していただく事になりました。

4月4日(日) 田人・四時川溪谷・曇り・参加者14名

ちょうど季節があったのか、いろいろの花が見られましたが、震災後と台風後の道がまだよく整備されていなく、なかなかアバンチュールな高低差のある楽しい観察路でした。

5月9日(日) 四倉・勝賀岩・晴れのち雨・参加者14名

初めての人も多く、頂上から海の見えるなかなかの景色で、ツツジの種類も多く、季節を変えてまた来てみたいとの要望も出た楽しい散策路でした。

6月6日(日) 鮫川・朝日山・小雨のち晴れ・参加者12名

前々日の雨のせいかぬかるみが多かったのですが、高山ならでの植物が多く見られました。オトシブミを開いてみたり、立ち止まることが多く予定より大幅に遅れたのですが、これもまた楽しく愉快的な観察会でした。

7月4日(日) 小野町・矢大臣山・小雨・参加者7名

当日の天気予報では雨の予報、それでも7名が参加しました。ちょうど地元の関係者が草刈りを

していて、ホテルブクロを刈残してくれていました。こういう心遣いは嬉しいものです。

観察に時間がかかってしまい頂上には辿り着きませんでしたが、充分見ごたえのある観察会でした。

8月1日（日） 矢祭町・滝川溪谷・小雨・参加者9名

夏の滝を堪能する観察会でした。高低差300メートルの峠の茶屋で食べた10割蕎麦はまた格別な味でした。

9月5日（日） 三和・芝山・曇り・参加者14名

天気はいまいち。車を下の駐車場に置き、登山道富士見台コースを登りました。残念な事に途中のブナが枯れていたり、元気がありませんでした。

頂上に地元の方が丹精込めて増やしてくれた希少種がありました。絶滅の第1の原因は人による盗掘だそうです。大事に守っていききたいものです。エゾゼミや、冬虫夏草も見れました。

10月3日（日） 遠野・八潮見城跡・晴・参加者12名

珍しく晴れました。八潮見城跡は上遠野の町を見下ろす山城。けっこうきつい山道を登って行きました。昔の人は健脚ですね。山道の脇の火山岩近くにママコナやコシオガマ、ツルアリドウシなど、なかなか出会えない花も見つけました。

ヌルデの虫こぶの中のアブラムシにビックリ。虫もビックリしたでしょうね。

これを機会にまた報告をさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。お楽しみに～

(古川眞智子記)



【ろうきん森の学校の報告】

1 令和3年7月18日（日）（天候・晴）

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

(2) 参加者数 40名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は2班編成で実施しました。親子連れの班はネイチャーゲームを実施し、もう1班は夏の湯の岳観察をしました。

自然体験活動は子供中心に森の手入れをしました。
木工クラフトでは木の枝のペンダントを作りました。

昼食は夏野菜カレーとサラダでした。



2 令和3年8月15日（日）（天候・雨後曇）

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

(2) 参加者数 28名

(3) 実施結果



自然観察会でははじめに研修室でセミの種類や雌雄の違いを勉強した後山荘周辺で抜け殻を探しました。アブラゼミやミンミンゼミが多く見られたようです。

木工クラフトでは、水鉄砲を作り風船を的にして遊びました。

昼食は混ぜご飯とキノコ汁それに天ぷらでした。

3 令和3年9月19日（日）（天候・晴）

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 40名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は秋の里山をのんびりあるく班と秋の虫たちと触れ合う班に分かれ、前者は色づき始めた木々や木の実を観察しました。一方後者は虫取り網を持ちトンボやバッタを捕まえていました。

木工クラフトでは、紙鉄砲を作りました。

昼食は、栗と豆ごはん、パンそれにキノコ汁、サラダでした。



(佐藤 烈記)

【国際ワークキャンプの報告】

名古屋商科大学の学生 13 名（男性 8 名、女性 5 名）に対して 8/3～8/21 の間ワークキャンプの受け入れを行いました。8/24～9/2 の間は、定例の国際ワークキャンプの受け入れを行いました。男性 4 名、余生 4 名でしたが、外国人男性 1 名は体調不良により途中で帰宅しました。

今回のワークキャンプでは観察コースの整備を重点に行いました。

活動内容は次のとおりです。

月 日	天候	午 前	午 後	夜	参 加 者		
					ワークキ ャンプメン バー	地元 メンバ ー	計
8 月 8 日	雨		ミーティング		13	1	14
				交流会	13	4	17
9	小雨曇	管理道路除草	植物観察スポット周辺整備		13	4	17
10	晴	ササ刈り	同上		13	4	17
11	晴曇	山荘廻り除草	同上		12	7	19
12	曇	山荘北側除草	同上		12	4	16
13	雨	大倉庫整理、田場坂畑作業	休み		12	3	15
14	雨	木工工作	木工工作・田場坂畑作業		12	2	14
15	雨曇	休み(ろうきん森の学校)	休み				
16	曇	藤原畑作業	植物観察・スポット周辺整備・山荘北側階段作り		13	10	23
17	雨	スギ苗作業	同左		9	5	14
		田人地区農作業	同左		4	2	6
18	曇晴	観察コース3整備	同左		9	6	15
		田人地区農作業	同左		4	2	6
19	晴	水車北側除草・広場南側除伐・除草	広場南側除伐除草、大駐車場南側除伐・除草		9	2	11
		田人地区農作業	同左		4	2	6
20	晴	休 日		振り返り、さよならパーティ	13	4	17
21	曇	清掃			13	1	14
8 月 24 日	曇		ミーティング	地元メンバーとの交流会	8	2	10
25	曇	フィールド案内、観察コース3整備	観察コース1整備(コース周辺の除伐、除草)		8	2	10
26	晴	観察コース1整備(コース周辺の除伐、除草)	沢沿いコース除伐・除草、古材移動作業		7	3	10

27	晴	同上	沢沿いコース除伐・除草		7	3	10
28	晴	同上	同上		7	5	12
29		フリー(山荘周辺施設見学他)					
30	晴	藤原畑作業	観察コース1歩道整備		7	12	19
31	晴	観察コース1歩道整備	木工工作		7	4	11
9月1日	小雨	自然観察会	作業道具の手入れ	振り返り・送別会	7	3	10
2	雨	清掃			7	3	10
					171	208	379



(松崎記)

【子どもの冒険ひろばの報告】

- 7月10日(土) 午前の部<23名>午後の部<24名>
・天気も良く、芝生広場が子どもたちで大賑わい!
 - 7月24日(土) 午前の部<23名>午後の部<17名>
・お父さんのリアカータクシーが大人気!
 - 8月14日(土) 午前の部<6名>午後の部<1名>
・雨のため、森の工房で木工工作を楽しんだ。
- ※9月の回は、コロナ感染拡大により中止となりました。



(馬場口記)

【湯の岳自然学校トライアル】

来年度から新たに始まる(仮称)湯の岳自然学校に先立ち8月から先行的に湯の岳自然学校トライアルとして実証を始めました。

当初は8月に2回、9月に1回、10月に1回、11月に1回、2月に1回と合わせて6回計画していましたが、市内のコロナ感染の広がり度で8月は1回だけまた9月は中止しました。

以下その実施状況を次に報告します。

8月1日(日) 9:30~12:00

参加者1組2名(母と小3男児)

内容:動植物の生育の基盤である土壌に注目してもらおうアクティビティを用意しておきながらも、参加した児童の興味関心を大事にし、虫を見つけて捕まえたり、ウスバカゲロウの幼虫の巣で実験したりしました。本人はとても楽しかったらしく、次回の予約もしていききました。

(佐藤 烈記)

【好間稲刈り】

10月3日(日)に行った稲刈りには、田植えに参加した親子3人と新たに3世代の家族1組と久しぶりに11人の参加がありました。子どもたちはぬかるみに足をとられながらも楽しかったようです。今年は10月17日(日)のろうきん森の学校で新米を食べてもらうことができました。



(木田記)

【防火訓練実施結果について】

今年2回目の防火訓練を10月5日午前9時から午前10時の間湯ノ岳山荘内で木田理事長外管理者4名が参加し実施しました。

今回は、旧館の宿泊客が寝煙草をして、夜に火事になったという想定で訓練を行いました。



旧館から倉庫に抜ける通路の非常口ドアガラス取っ手
部右側に「非常口の表示及び➡印」を表裏に貼り付けて
分かりやすくしました。

最後に、消防署から、訓練用の水圧消火器を借用し、目
標（火元場所）を決めて消活活動を実施した、老体にむ
ちを入れ、発射したところ一発で「的」に命中し、山荘
消防隊員の実力を見せつけました。最近も、コロナの関
係で日曜日は特に散歩人が多くなって来ており、投げ捨
て吸殻が散見されます、会員の方も、喫煙者を見つけた
場合は、山火事防止の為、声かけ運動を実施して下さる

ようお願いいたします。会員の皆様も火気に対して注意し、防火に関心をもって自宅や山荘
から火事を出さないように御協力願います。

(防火管理者 松本 學)

編集後記

最近 PG 班で回し読みしている本でおもしろいことが書いてありましたので、簡単に紹介しま
す。

生物は子孫を残すために存在すると広く信じられていますが、実はそうではないとのこと
です。生物は「自分の遺伝子」を残すために存在するのだそうです。自分の遺伝子を持たない子を
殺す現象や、多くの異性と関係を持つことがこれで説明できるというのです。なるほどと思われ
ます。

もう一つ、ところが人間だけは、自分の遺伝子を残したいと行動するだけでなく厄介なことに
名声などを次の世代に遺したいとも思う唯一の生物だそうです。これを「ミーム」というそう
です。

今回は、観察班の報告や本格的に始まったこどもの冒険ひろば、湯ノ岳自然学校トライアル等
多くの事業報告が掲載されています。紙面構成については見苦しい点もあろうかと思いますがご
容赦願います。

また、11月のはじめには2年ぶりに自然案内人養成講座を開催します。詳しくはホームページ
やフェイスブックまたは毎月送付される会の案内をご覧ください。

(発 行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.Jimdo.com/>